



## 背景・狙い

- 2025年は日印科学技術協力協定締結から40周年の年。同年1月、米国において岩屋外務大臣とジャイシャンカル・インド外相との間で日印外相会談を行い、両外相から、2025年度(2025年4月～2026年3月)を「日印科学技術交流年」とすることを発表。
- 本交流年を通じ、先端技術・イノベーション分野において、日印双方の強みを活かした相互補完的な協力を促進し、新たな価値を共創していく機運を高める。

## 取組

- 日印科学技術協力協定に基づき、日印の科学技術関係者が一堂に会する第11回日印科学技術協力合同委員会を5年ぶりにインド・デリーで実施する予定。
- 加えて、これまでの協力実績等も踏まえつつ、以下のような取組を今後検討していく。



前回合同委員会の様子

### (今後のありうべき取組)

- 宇宙航空研究開発機構(JAXA)とインド宇宙研究機関(ISRO)との間で、月極域探査機(LUPEX)プロジェクトに関する取組を推進。
- 日本医療研究開発機構(AMED)とインドの科学技術庁、医学研究評議会との間で、戦略的国際共同研究プログラム(SICORP)での健康医療分野の研究協力に係る協力覚書に署名予定。
- 科学技術振興機構(JST)とインド工科大学等との間の、共同研究をベースとしたインド若手研究人材の研究滞在支援を通じ、科学技術分野における日印の人的交流を強化。

